

大会開催にかかる新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

埼玉県スポーツ少年団駅伝競走部会が大会を主催するにあたり、最も重きを置くのは、子供たちが安全に、安心して競技ができる環境を整えることです。

今般のコロナ禍において大会を開催するには、関係する大人が共通認識のもと、感染防止に取り組む必要があります。このことから、以下のとおり感染防止ガイドラインを作成しましたので、一人ひとりが内容を理解し、「うつらない、うつさない」ための行動にご協力ください。これを守っていただけない参加者には大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。

1 主な感染経路

新型コロナウイルス感染症は、主に飛沫感染（咳・くしゃみ、おしゃべりによる感染）、接触感染（手で触れることによる感染）の2つの経路で生じることが確認されています。

2 一般的な予防方法

- (1) 「3つの密（密閉、密集、密接）」の回避
- (2) 手洗いと咳エチケットの励行
- (3) マスク、シールドなどの着用
- (4) ソーシャルディスタンスの確保

3 大会前の対応

- ・大会に参加しようとする時は、選手に参加の意思があることを確認した上で、保護者の同意が得られていること。
- ・大会参加者（大会会場に行く全ての方）は、大会日の1週間前から当日まで健康チェックを行い、自分の状態を確認、記録すること。なお、発熱の症状があるなど体調の悪い方、感染が疑われる場合等は参加を控えること。（別記 参加 判断基準参照）
- ・大会参加者は最小限にすること。試合に出ない選手は参加を控えることとし、保護者は試合に出る選手の人数を超えないこと。
- ・チーム代表者は、参加者全員の健康報告を把握し、その内容に責任をもつこと。
- ・感染した場合に重症化するリスクの高い高齢者をはじめ、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、慢性閉塞性肺疾患など）がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方の大会参加は極力お控えいただくこと。
- ・各チームで、参加者全員に対応できる消毒液等、感染対策の用意をすること。
- ・大会会場への往路、復路に自家用車の使用を予定する場合は、単一家族での乗車が望ましい。家族以外に乗り合わせをする場合は、乗車する全員が同乗を承知していること。なお、車中ではマスク着用の上、私語を慎むこと。

- ・日頃より、チーム関係者に新型コロナウイルス感染症の陽性もしくは濃厚接触の判定が出された場合を想定し、チーム内で連絡体制及び対応を整えておくこと。

4 大会当日の対応

- ・指定された時間より前に集まらないこと。
- ・役員の指示に従い、全員がマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保つこと。
- ・参加者名簿に名前の無い方は来場できない。

【公園内】

- ・常に3密回避に気を配ること。
- ・施設が行う感染症対策に従うこと。
- ・大きな声で話さないこと。
- ・熱中症対策の水分補給以外は飲食をしないこと。
- ・触れた部分は各自で消毒すること。

【その他】

- ・忘れ物のないよう注意すること。持ち主が判明しても、部会では預からない。陸上競技場でも預からない場合は処分します。

5 大会後日の対応

- ・大会終了後1週間は、体調に変化がないか十分注意を払うこと。また、万が一に備え、行動記録をつけるなどして、自身の行動を振り返ることができるようにしておくこと。

別記 参加判断の基準

以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

【発熱について】 大会等の当日、前日、前々日の3日間のうちに1日でも37.5度を計測した際は、参加を見合わせてください。感染症法上における発熱の基準は37.5度ですが、厚生労働省より発熱や体調には個人差があることから、自分の平熱を踏まえたうえでの判断が必要との見解が出されています。現在、社会活動上用いられる発熱の基準は37度とされています。一定数の無症状感染者がいることを想定し、いつもと違うと感ずるところがありましたら勇気を持って参加を見合わせてください。

イ 同居家族や身近な知人に陽性判定者がいる場合。